



福應 健教授近影

福應 健教授退任記念号の発刊に寄せて

福應健教授は、2004年3月に本学を定年で退職されました。先生は1966年4月に本学に助教として着任され、以来38年の長きにわたって本学に在職され、教育、研究、学内行政に携わってこられました。本年度で開設後40年を迎える本学経営学部を中心メンバーとして同学部の発展に重要な役割を担ってこられたばかりでなく、本学全体の発展にご尽力くださったことに対して、心から感謝申し上げます。本学はそのため、先生に対して2004年5月に名誉教授の称号を贈らせていただきました。

福應先生は、1933年に愛知県でお生まれになりました。1956年3月に京都大学経済学部をご卒業後、同大学大学院経済学研究科修士課程に進まれました。1958年3月に同課程を修了（経済学修士）後、ひきつづき同大学院博士課程に進まれました。博士課程に入学と同時に、関西学院大学商学部助手に就任され、1962年4月に同大学同学部の専任講師に昇進されるとともに、研究をつづけられて1964年3月に京都大学大学院博士課程を単位取得後満期退学されました。そして先生は、1966年4月に本学の経営学部助教授（経営史担当）になられ、1979年4月に経営学部教授に昇進されました。

福應先生のご専門は、欧米とくにドイツの経営史と経済史にまたがり、とりわけ経営史学の領域において実証研究およびそれにもとづく理論研究を行ってこられました。近代ドイツにおける企業者活動を歴史的な社会・文化構造との関係で明らかにする論文、および経営史学における比較的研究方法論に関する論文を発表されるとともに、西洋の近代経営の形成と展開に関する、また経営発展の歴史分析のための学際的研究に関する共著を出版されています。また学術の上での活動として、2000年7月に日本学術会議会員に選出され、同会議の学術基盤情報常置委員会、経済史研究連絡委員会、歴史学研究連絡委員会の委員活動を通じて、広く日本の社会科学・歴史学の発展に貢献されました。

福應先生は、教育にも熱心に取り組んでこられました。経営史の講義を教室で受講者に対して丁寧にかつ情熱的に行っておられるのを幾度となく目にいたしました。姿勢を正し、風格をもって講義される先生の姿は、まさに伝統ある本学の教授らしい教授と映りました。

福應先生はまた、大学運営の面でも活躍なさいました。1980年4月からの2年間と2000年4月からの2年間の2度にわたって経営学部長（学校法人東京経済大学理事）という要職を務められました。さらに電算室長、図書館長、大学院経営学専攻開設準備委員長、大学院経営学研究科主任、経営学部流通マーケティング学科設置準備委員長、学内諸制度整備委員会委員長（3度）などの役職を歴任されました。福應先生は、われわれ後輩や大学院生・学部学生に対して優しいアドバイザーであり、またときに厳しい批判者でもありました。私が

福應 健教授退任記念号の発刊に寄せて

全学教務委員長を務めていたときには、全学的な見地から適切な助言を何度かいただきましたが、大学全体の政策に関しては、つねに本学の歴史的な発展の過程をふまえて政策の妥当性を吟味され、異論を提示されることもしばしばでした。

福應先生は、歴史学を基礎として学問の諸領域を体系化するというアカデミックな構想を抱いておられ、日本の大学で「歴史学部」の創設など新しい学問運動が起こることを願っておられました。今日、世界の学問はそれぞれの専門分野にますます分岐し、研究方法も多様に分化して学の総合化・体系化への道は見通しづらくなっています。とくに先生のご専門の経営史学は、経済・社会の体制的・構造的問題と、組織文化や企業風土など経営における人間の主体的・実践的問題を総合的に考察するための基軸となりうる学問であると思われま

す。現在、福應先生はドイツにおけるコーポレート・ガバナンスの展開をあとづける法人企業資料の分析に取り組んでおられます。これからも先生は生涯現役として研究をつづけられることと思いますが、「歴史学にもとづく学の総合」のために今後も私ども後進にさまざまな面で範をお示しくだるようお願い申し上げますとともに、ますますのご健勝とご活躍をお祈りいたします。

2004年11月

経営学部長 陣内良昭

福應 健教授年譜並びに主要著作目録

1933年 5月 愛知県岡崎市で出生（18日）

学 歴

1952年 3月 兵庫県立姫路西高等学校卒業
1956年 3月 京都大学経済学部卒業
1956年 4月 京都大学大学院経済学研究科修士課程入学
1958年 3月 京都大学大学院経済学研究科修士課程終了（経済学修士）
1958年 4月 京都大学大学院経済学研究科博士課程進学
1964年 3月 京都大学大学院経済学研究科博士課程単位習得満期退学

職 歴

1958年 4月 関西学院大学助手（商学部勤務）
1962年 4月 同 専任講師（商学部勤務）
1966年 4月 東京経済大学助教授「経営史」担当
1970年 4月 同 教務副主任（1971年4月まで）
1972年 4月 東京経済大学国外研究員（長期）
ドイツ連邦共和国（当時） ミュンスター・ヴェストファーレン・ヴィルヘルム大学にて研究に従事（同8月より74年10月まで）
1978年 4月 同 入試出題委員長（1980年3月まで）
1979年 1月 同 科目担当資格「経済史」追加
1979年 4月 同 教授
1980年 4月 同 経営学部長（1982年3月まで）
同 学校法人東京経済大学理事・評議員（1982年3月まで）
同 入試本部副本部長（1982年3月まで）
5月 同 電算機設置準備委員会委員長（1980年11月まで）
6月 同 大学院経営学専攻開設準備委員会委員長（1982年3月まで）
11月 同 電算室開設準備委員長（1981年3月まで）
12月 同 電子計算機室運営委員会委員長（1982年3月まで）

福應 健教授年譜並びに主要著作目録

1981年 4月	同 電算室長 (1982年3月まで)
5月	同 特修コース運営委員会委員長 (1982年3月まで)
1983年 6月	同 大学院経営学専攻開設準備委員会副委員長 (1984年3月まで)
10月	同 学長選挙管理委員会委員長 (1984年3月まで)
1984年 4月	同 大学院経営学研究科主任 (1986年3月まで)
6月	学校法人東京経済大学評議員 (教職員評議員) (1996年5月まで)
6月	東京経済大学第二部問題検討委員会委員長 (1985年6月まで)
1986年 4月	同 図書館長 (1988年3月まで)
8月	東京都武蔵村山市公文書公開審査会委員 (1992年7月まで)
11月	東京経済大学沿革資料等の管理に関する検討委員会委員長
1987年 10月	同 学長候補者推薦委員会委員長 (1987年12月まで)
12月	同 学内諸制度整備委員会委員長 (1989年12月まで)
1988年 10月	同 キャンパス再開発プロジェクトチーム座長 (1990年3月まで)
1991年 11月	同 学長選挙管理委員会委員長 (1992年3月まで)
1992年 7月	同 学内諸制度整備委員会委員長 (1994年7月まで)
1994年 5月	同 教授会規定大綱案検討委員会委員長 (1995年3月まで)
1995年 6月	同 経営学部改革委員会委員長 (1996年3月まで)
12月	同 経営学部流通マーケティング学科設置準備委員会委員長 (1998年3月まで)
1996年 4月	同 教員資格審査委員会委員長 (1997年3月まで)
1998年 12月	同 教職課程検討特別委員会委員長 (1999年4月まで)
2000年 2月	同 自己点検基本事項検討委員会委員長 (2002年2月まで)
4月	同 経営学部長 (2002年3月まで)
同	同 電算室長 (2002年3月まで)
同	学校法人東京経済大学理事・評議員 (2002年3月まで)
7月	東京経済大学新定員活用検討委員会委員長 (2001年5月まで)
同	日本学術会議会員 (第18期)
12月	東京経済大学100年史編纂委員会委員長 (2003年7月まで)
2003年 7月	日本学術会議会員 (第19期) 現在に至る
2003年 11月	日本学術会議経済史研究連絡委員会委員長 現在に至る
2004年 3月	東京経済大学定年退職
4月	東京経済大学名誉教授

非常勤教員歴

- 1969年4月 法政大学経営学部非常勤講師（1971年3月まで）「経済史」担当
東北大学経済学部非常勤講師（集中講義）「経営史」担当
- 1970年4月 東京女子大学非常勤講師（1971年3月まで）「特講・経営史」担当
- 1975年4月 筑波大学第一学群社会非常勤講師（1977年3月まで）「欧州経済史」担当
北海道大学経済学部非常勤講師（集中講義）「経営史」担当
- 1978年4月 北海道大学経済学部非常勤講師（集中講義）「経営史」担当
- 1993年6月 千葉経済大学短期大学部非常勤講師（1996年3月まで）「経営史」担当
- 1994年4月 一橋大学商学部非常勤講師（1996年3月まで）「商業史概論」担当

所属学会

経営史学会（顧問），社会経済史学会，政治経済学・経済史学会（旧土地制度史学会）

主要著作

著 書

- ・『現代の世界四：ヨーロッパ』（共）1970.7 グイヤモンド社
- ・『ドイツ資本主義の史的構造』（共）1972.3 有斐閣
- ・『ヨーロッパ・アメリカ・日本の経営風土』（共）1978.3 有斐閣
- ・『外国企業及び企業者・経営者総合目録』（共）1979.3 雄松堂書店
- ・『西洋経営史を学ぶ（上）』（共編）1982.3 有斐閣
- ・『西洋経営史を学ぶ（下）』（共編）1982.5 有斐閣
- ・『経営史学の20年—回顧と展望—』（共）1985.6 東京大学出版会
- ・『エレメンタル経営史』（共）2000.5 英創社

論 文

- ・「帝政ドイツにおけるユンカー経営とプロイセン内地植民政策」（単）1959.3『商学論究』（関西学院大学）25号
- ・『『ワイマール期』ドイツ鉄工業における経営合理化』（単）1959.10『商学論究』（関西学院大学）創立70周年号（27号）
- ・「領主経営の展開といわゆる〈Aristocratic Entrepreneurship〉」（単）1961.9『商学論究』（関西

福應 健教授年譜並びに主要著作目録

学院大学) 35号

- ・「ドイツ産業資本と株式会社経営」(単) 1961.12『商学論究』(関西学院大学) 学部10周年号(36号)
- ・「ザクセン綿紡績における機械制工場経営の成立」(単) 1964.2『商学論究』(関西学院大学) 11巻4号
- ・「ザクセン綿業における『企業者類型』と工場制度の成立」(単) 1965.12『商学論究』(関西学院大学) 13巻3号
- ・「ドイツ『産業革命』の諸問題」(単) 1966.2『社会経済史学』31巻1~5号
- ・「『産業化』における日本とドイツ」(単) 1969.1『東京経大会誌』61号
- ・「ドイツ社史・企業者伝記目録」(単) 1969.7『東京経大会誌』63号
- ・「ドイツ産業化と官僚」(単) 1971.9『経営史学』第6巻1号
- ・「第二帝政期ドイツ地方行政の構造と性格」(単) 1979.8『社会経済史学』45巻2号
- ・「イー・ゲー・ファルベン」(単) 1979.9『経済学辞典』第二版(岩波書店)
- ・「世紀交替期ドイツの株式会社『監査役 Aufsichtsrat』」(単) 1982.10『経営史学』第17巻3号
- ・「ドイツ重工業の展開とプロイセン『退任鉱山官試補 Bergassessor a.D.』—専門経営者形成をめぐる一考察—」(単) 1992.1『東京経大会誌』174号
- ・「ドイツにおける『経営者資本主義』と『監査役 Aufsichtsrat』制度1884-1930」(単) 1994.11『一橋論叢』112巻5号

書 評

- ・望田幸男 編著『近代ドイツ=「資格社会」の制度と機能』1998.9
『社会経済史学』64巻3号
- ・米川伸一 著『東西紡績経営史』1999.9
『社会経済史学』65巻3号
- ・新山雄三 著『ドイツ監査役制度の生成と意義—ドイツ近代株式会社法の構造と機能—』2004.3
『経営史学』第38巻4号